



アソシエイト
佐口 真優

アソシエイト
柴崎 昂介

アソシエイト
笠松 聖月

新人研修は現場ですぐに活かせる実践型 学ぶだけではなく、全国に同期との絆をつくる大切な時間

佐口 2週間にわたって東京で行われる全事務所合同の新人研修で、幅広い同期との絆を築くことができました。名古屋だけではなく東京はもちろん、大阪、福岡からも参加し、100名以上の同期と顔を合わせることができました。社会人を経験している人も多く年代も幅広いですね。

笠松 一回りも年上の同期とちゃんとコミュニケーションできるのか不安もありましたが、グループワークなどで話すうちにすっかり打ち解けることができました。やはり話し方が上手だったりビジネスやさまざまな業界等に詳しくったりと、さすが社会人経験者は違うなと刺激を受けました。同期ではありますが今でも社会人の先輩として頼れる存在です。

柴崎 東京や大阪のメンバーと親睦会を開く機会もあり、プライベートでも親しい仲間ができました。一緒に旅行も行きましたし、今でも仕事上の質問などを社内チャットでやり取りしたりと頻繁に交流しています。

笠松 研修のスタイルが、講師から一方的に教えてもらう座学型ではなく実践型なので、研修で学んだことを実際の現場ですぐに実践できる内容でした。私としてはビジネスマナー研修が特に役立ちました。学生時代に

経験のなかった名刺の受け渡しは不安でしたが、この研修で学んだおかげで、現場に出た後も動揺することなくできました。

佐口 グループワークでは、徹底的に議論を交わすことも多かったですね。実際に監査チーム内でもディスカッションすることが多く、実務を想定した貴重な体験だったということを実感しました。演習形式の研修は記憶に残りやすく、例えば証憑突合の演習では、ここを見落とすとこのような問題が起こり得るといったことを体験として学べたのも大きいですね。

柴崎 実際の現場で仕事をしてみると、クライアントやチームでのコミュニケーションがとても重要になりますが、グループワークでは自分の意見を相手にいかにわかりやすく伝えるかを体験的に学べるので今とても役立っています。また「PwC Professional」^{※1}について、その心構えや行動指針などについて学ぶとともに徹底的にディスカッションしたことも、現場での信頼し教え合う空気づくりに活かすことができています。

笠松 私は先日フォローアップ研修^{※2}をオンラインで受けたのですが、画面越しとはいえ久々に同期のみんなと会えてうれしかっ

たです。フォローアップ研修でも新人研修の時と同じように5、6人のグループごとに分かれて議論を交わしました。お互いに実務を経験しているので、自分の担当クライアントとは違う業界の仕事の話も聞けて刺激になりました。

佐口 私はちょうどこれからフォローアップ研修なのですが、この業務ではどのようなことに気をつけるべきか、自分はどこにつまずいているのかなど、いろいろと情報共有することに期待しています。

柴崎 自分もフォローアップ研修で、実際の仕事で不安に感じたことなどをみんなに伝えたところ、同じような悩みを抱えている人が多いことがわかり、さまざまな意見交換やアドバイスなどを通じて不安を解消することができました。監査業務というのは基本的にチームで行われますが、チーム内に新人は1人か2人しかいませんので、この機会を通して、自分と同じ立場の同期が日々どのように業務に取り組んでいるのか、わかったことで、より自信を持って仕事に挑めるようになりました。

※1 PwCのプロフェッショナルに求められるAttitude（再現性のある行動特性）
※2 新人研修から約半年後に、振り返りと更なる知識・スキルの習得の為に実施される研修

職階別研修

主にアソシエイトからパートナーまでの各職階の職員を対象に、会計監査やアドバイザリー等の専門領域のみならず、「リーダーシップ」「ビジネス」「グローバル」「リレーションシップ」といった幅広い領域の研修コースを各職階に多数準備しています。PwCあらたでは研修を「継続的な成長のための気づきの場」と考えており、研修で得た知識を日々の仕事で適用し、その経験を通じてまた新たな気づきを得る「経験学習」を奨励しています。専門知識を継続して高めていくほか、「プロジェクトマネジメント研修」などチームをリードする上で欠かせないプログラムも実施しています。



マネージャー 駒井 貞児

テクニカルな研修だけでなく、ソフトスキルに関する研修も充実しているのが特徴です。私自身も名古屋事務所発の「思いやり研修」を受講し、どんなときでもチームメンバーに対して思いやりをもって接することができるようになったと感じています。



アソシエイト 高地 智哉

会計基準の改定等、新たなトピックが生じた際には必ず社内研修が用意されているので、知識のアップデートに利用しています。また、無理のない範囲で受講できるよう e-learning の配信も行われており、時間を効率的に使うことができます。

デジタル研修

デジタル研修は業務効率を高め、クライアントに価値あるサービスを提供していくために全職員のデジタルスキル向上を目指したPwCあらたの取り組みです。デジタル化促進のため「デジタルチャンピオン」、「デジタルアンバサダー」[※]を各部門に配置し、定期的に情報交換を行うことで法人全体として共通のデジタルリテラシーを醸成しています。名古屋事務所では、より実務に即した内容として、デジタルツール導入事例の共有や、頻繁に使用するツールの機能を操作しながら学ぶ等、ワークショップを定期的に開催しています。また、デジタルツールの習熟度に関するアンケートを実施し、スキルの底上げを図るプログラムも予定しています。



ディレクター 久保 規之

名古屋事務所のデジタルチャンピオン[※]として、現場業務により近い距離からワークショップの実施、情報発信などの活動を行っています。若手の皆さんには是非、積極的にデジタルツールを活用して学んでいただき、強い推進力となっていくことを期待しています。



アソシエイト 森 拓海

データ分析アプリケーションを利用して、期末監査のためのデータ加工ツールを作成しました。従来の作業工数が半分以下になり、チームの効率化に貢献できました。将来的には、自分で作成したツールが法人内で展開されることが目標です。

※PwCの運営組織において、デジタル文化の醸成やデジタルの実践を推進する役割を担っています。「デジタルチャンピオン」は、デジタル文化の発信やデジタルアンバサダー活動の広報を行います。「デジタルアンバサダー」は、デジタルツールを習得し、現場へのデジタルツール利用の検討・導入を推進します。

アカデミー活動

企業と経済の発展に欠かせない経理に携わる人材に向けて、経理業務の学習や最新情報のキャッチアップの機会をつくるほか、互いに交流を深めていただくことを狙いとした名古屋事務所独自の活動です。中部経済の持続的発展に寄与することを目標に、中部圏の貴重な経理人材に対して学習の機会を提供しています。内容は講師となる職員が企画しており、入所1年目の職員が担当することもあります。セミナー形式を中心としていますが、複数日程で体系的に学ぶコンテンツやビジネスゲームのワークショップ等も開催し、充実したプログラムとなるよう取り組んでいます。



シニアマネージャー 牛丸 智詞

アカデミー活動に携わると、早期から人前での講演に慣れることができる上、受講者から感謝のフィードバックを受けたりするなど、会計士という仕事を一層魅力的に感じられるようになります。ぜひ皆さん、一緒にアカデミー活動を行いませんか。



アソシエイト 牧原 知里

新人経理向けセミナーの活動に参加したのですが、どうすれば自分の知識をより分かりやすく相手に伝えられるのか、ということに特に重きを置きました。それにより、自分の頭の中を整理できたり、説明する力が養われたりと、自身の成長につながったと感じています。